

〇〇●● 長野県環境保全研究所ニュース 平成 23 年 (2011 年) 6 月 30 日発行 ●●〇〇  
安茂里庁舎 〒 380-0944 長野市安茂里米村 1978 TEL.026-227-0354 FAX.026-224-3415  
飯綱庁舎 〒 381-0075 長野市北郷 2054-120 TEL.026-239-1031 FAX.026-239-2929  
http://www.pref.nagano.lg.jp/xseikan/khozen/index.htm Email: kanken@pref.nagano.lg.jp

## 福島第一原子力発電所事故の影響を監視しています

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、東京電力福島第一原子力発電所において、放射性物質の放出事故が発生しました。当所においては、文部科学省の委託事業として、昭和51年7月から、各種環境試料中の放射能調査（環境放射能水準調査）を実施していますが、事故直後から現在に至るまで緊急調査を実施し、本県への事故の影響を、全所体制で監視しています。



写真1 モニタリングポストの検出器

調査は、大気中の放射線量（空間放射線量率）の測定と、水道水や食品等に含まれる放射性物質濃度の測定に大きく分けられます。大気中の放射線量の測定については、長野市内の当所屋上に設置されたモニタリングポスト(写真1)により、24時間連続監視しています。夜間の監視については、事故直後から3月末までは、職員2名が毎晩、交代で常駐し、線量率を監視しました。その後は、自動通報システムにより、夜間の監視を行っています。また、県内全域の状況を監視するため、可搬型の測定器であるサーベイメータ（写真2）を用いて、月に1回、県内8カ所で線量率の測定を実施しています。



写真2 サーベイメータ

一方、水道水

等に含まれる放射性物質濃度の測定については、ゲルマニウム半導体核種分析装置（写真3）を用いて実施しています。雨や塵等の降下物（写真4）と水道水については、毎日、当所で試料採取し、放射性物質を監視しています。水道水については、県内全域の状況を監視するため、県下8カ所で毎月2回のモニタリング調査も実施しています。また、県内産の野菜、原乳、キノコ、山菜等の農畜産物、及び下水道処理施設の汚泥等についても随時、調査を実施しています。



写真3 ゲルマニウム半導体核種分析装置  
リング調査も



写真4 降下物採取装置

以上の調査結果の詳細については、県のホームページ等で随時、公表されており、全体として、県内の放射性物質の状況は、問題ないレベルにあると考えられます。当所におきましては、測定体制の充実をはかりつつ、今後も、全所をあげて、県民の皆様の安全・安心のため、事故の影響をしっかりと監視していきたいと思ひます。

(中込和徳 kanken-taiki@pref.nagano.lg.jp)

### 目次

最近の話題	「福島第一原子力発電所事故の影響を監視しています」	1
トピックス	「腸管出血性大腸菌の感染を防ぐには？」	2
トピックス	「下水道処理施設の省エネ運転に関する研究」	3
平成 23 年度出前講座一覧・お知らせ	「夏の施設公開」	4